

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年03月31日

計画の名称	島しょ地域における防災力を強化し、安全な暮らしを確保するインフラ整備												
計画の期間	令和06年度 ～ 令和10年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	東京都, 八丈町												
計画の目標	・島内の交通手段が道路に限定されている島しょ地域において、日常生活や観光での通行に加え、災害時の避難にも歩行者が安全に通行できる歩行空間を確保する。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	24,845	A	24,845	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初	R8末	R10末
1	歩行者が安全に通行できる歩行空間を、169% (R10) 増加させる。 歩行空間の増加率 $\{ (\text{対象路線の整備済歩道面積}) / (\text{対象路線の既存歩道面積}) - 1 \} \times 100$	0%	76%	169%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							R06	R07	R08	R09	R10				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 大島循環線 (泉津3 期)	現道拡幅 0.8km	大島町	■	■	■	■		841		—	
	A01-002	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 大島循環線 (間伏 差木地)	現道拡幅 0.55km	大島町	■	■				403		—	
	A01-003	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 大島循環線 (間伏 差木地2期)	現道拡幅 0.5km	大島町	■	■	■	■	■		364		—
A01-004	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 大島循環線 (大島 公園地区)	現道拡幅 0.9km	大島町	■	■	■	■	■		537		—	
A01-005	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 三宅循環線 (坪田)	現道拡幅 0.45km	三宅村	■	■	■				1,707		—	
A01-006	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 三宅循環線 (坪田2 期)	現道拡幅 0.48km	三宅村	■	■	■				1,774		—	

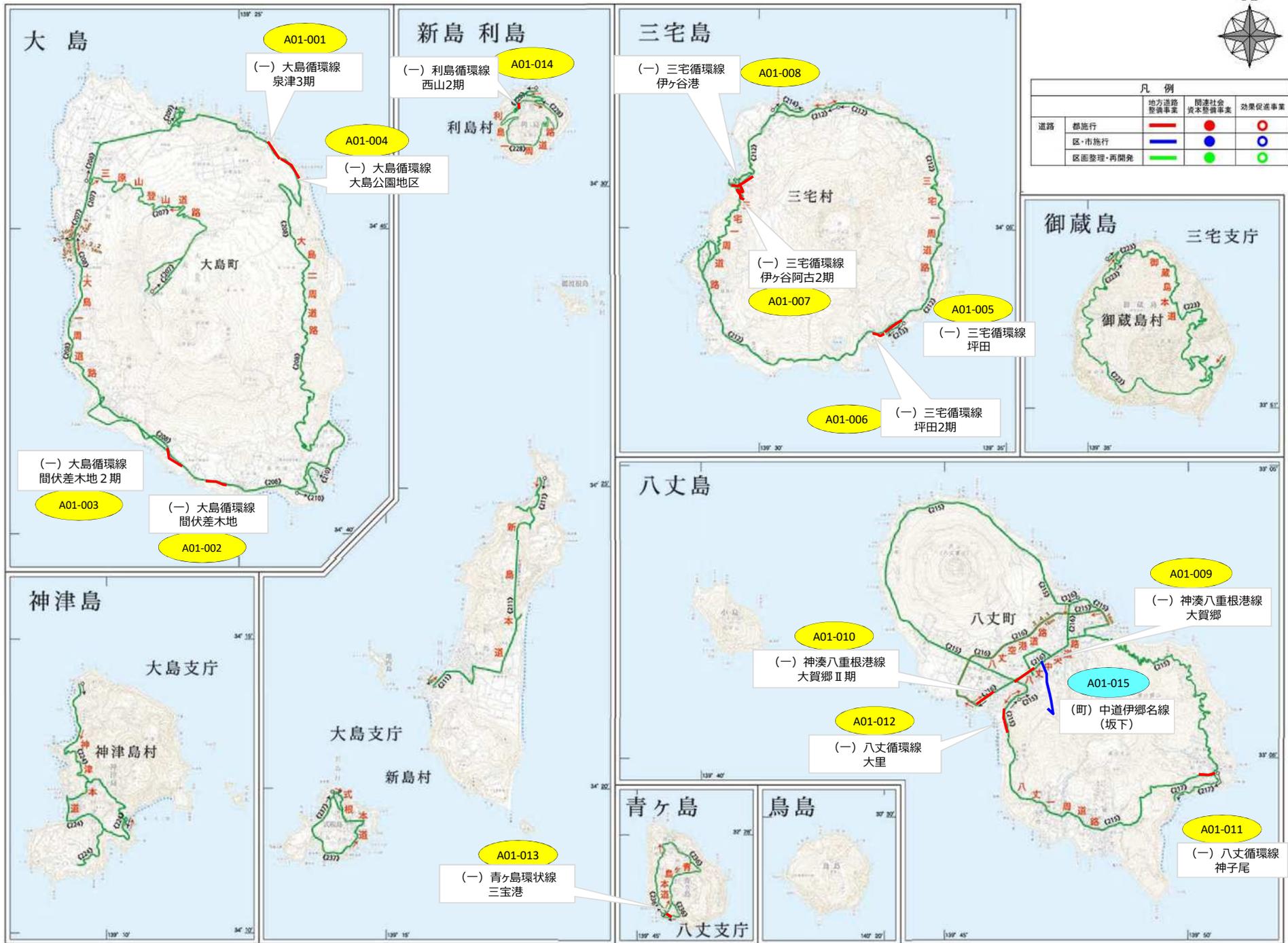
A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R06	R07	R08	R09	R10					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-007	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 三宅循環線（伊ヶ 谷阿古2期)	現道拡幅 0.42km	三宅村	■	■				1,410		—		
	伊ヶ谷漁港に接続する道路のダブルルート化が図られることによる便益を考慮																				
	A01-008	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 三宅循環線（伊ヶ 谷港)	バイパス 1.0km	三宅村	■	■	■	■	■		7,921	1.04	—	
	伊ヶ谷漁港に接続する道路のダブルルート化が図られることによる便益を考慮																				
	A01-009	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 神湊八重根港線（ 大賀郷)	現道拡幅 0.76km	八丈町	■	■	■				3,391		—	
	伊ヶ谷漁港に接続する道路のダブルルート化が図られることによる便益を考慮																				
A01-010	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 神湊八重根港線（ 大賀郷2期)	現道拡幅 0.85km	八丈町	■	■	■	■	■		1,208		—		
伊ヶ谷漁港に接続する道路のダブルルート化が図られることによる便益を考慮																					
A01-011	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 八丈循環線（神子 尾)	現道拡幅 0.7km	八丈町	■	■	■	■	■		1,404		—		
伊ヶ谷漁港に接続する道路のダブルルート化が図られることによる便益を考慮																					
A01-012	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 八丈循環線（大里)	現道拡幅 0.8km	八丈町	■	■	■	■	■		1,120		—		
伊ヶ谷漁港に接続する道路のダブルルート化が図られることによる便益を考慮																					
伊ヶ谷漁港に接続する道路のダブルルート化が図られることによる便益を考慮																					
伊ヶ谷漁港に接続する道路のダブルルート化が図られることによる便益を考慮																					

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 青ヶ島循環線 (三 宝港)	現道拡幅 0.19km	青ヶ島村	■	■	■	■	■	925	—	
	A01-014	道路	離島	東京都	直接	—	都道府 県道	改築	(一) 利島環状線 (西山 2期)	バイパス 0.43km	利島村	■	■	■	■	■	600	—	
	A01-015	道路	離島	八丈町	直接	—	市町村 道	改築	(町) 中道伊郷名線 (坂 下)	現道拡幅 3.1km	八丈町	■	■	■	■	■	1,240	—	
											小計						24,845		
											合計						24,845		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					



事前評価チェックシート

計画の名称： 島しょ地域における防災力を強化し、安全な暮らしを確保するインフラ整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合等 1) 上位計画等と整合が図られている。(計画名 「未来の東京」戦略)	○
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合等 2) 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標の客観性・具体性・地域性 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標の客観性・具体性・地域性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境 3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○